

瑞穂市図書館だより

「読書のまち みずほ」をめざして、子どもの読書活動を推進しています。

2024. 11第102号

本館 058-326-2300

分館 058-328-7070

瑞穂市特産の「富有柿」の収穫で、活気にあふれる季節になりました。

図書館では読書週間特別企画を続行中です。本館では「始まりの一行で本を選んでみませんか」を開催します。大人向け本の福袋で、思いがけない一冊との出会いを楽しんでみませんか。また「ストーリーテリングおはなしの会」（5歳以上おすすめ）も、ご参加お持ちしています。詳しくは、館内ポスターやHPをご覧ください。

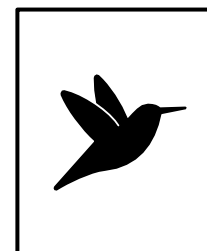


11月のイベントカレンダー

<https://www.library-mizuho-gifu.jp>



日	月	火	水	木	金	土
11月3日（日）は 市主催のイベントのため、 分館は臨時休館になります。					1	2 ＜本館＞ 始まりの一行 ＜分館＞ おはなしの会
3 ＜分館＞ 休館日	4 ＜分館＞ もくもくみずほ	5 休館日	6	7	8 ＜本館＞ 未就園児向け おはなしの会	9 ＜分館＞ おはなしの会
10	11 休館日	12	13	14	15 ＜本館＞ わらべうたで あそぼう	16 ＜本館＞ 企画展講演会 ＜分館＞ おはなしの会
17	18 休館日	19	20	21	22 ＜分館＞ 未就園児向け おはなしの会	23 ＜分館＞ おはなしの会
24	25 休館日	26	27	28	29 休館日	30 ＜本館＞ストーリー テリングおはなしの会 ＜分館＞ おはなしの会
31	「おはなしの会」 「未就園児向けおはなしの会」 「映画鑑賞会」					【分館】 毎週土曜日 14：30～ 絵本フロア 【本館】 第2金曜日 10：30～ おはなし室 【分館】 第4金曜日 10：30～ 絵本フロア 【本館】 12/15、3/16 10：30～ 2階・学習室 定員20名



『いざ、豊島屋』

＜588.3/イ＞

豊島屋を愛する委員会//編 KADOKAWA

本書は鳩サプレーでお馴染み「豊島屋」について書かれた本です。今年で創業130周年。お店や鳩サプレーの歴史、鎌倉の名所と絡めた季節の上生菓子を、素敵な写真付きで紹介しています。本店限定のオリジナルグッズも紹介されており、鎌倉へ行きたくなること間違いなし。豊島屋への愛があふれた一冊です。



『たい焼き総選挙』

＜児/913/ア＞

新井 けいこ//作 あかね書房

商店街のたい焼き屋さんのピンチに拓都たち小学生が立ち上がる！たい焼きを作って売ることの大変さを知り、儲けを出すための値段設定や食品ロスの問題、新メニューの考案など問題は山積み。商店街で求められているものをアンケートで調査もします。たい焼き屋さんのために一生懸命な子どもたちを応援したくなります。

※他にもまだまだあります♪ 一般（毎週土曜日発行）・児童（隔週土曜日発行）の新刊案内をご覧ください。両館お取り寄せできます。貸出中の場合は、予約できます。お気軽にお尋ねください。



『拓ちゃん博士のよく飛ぶおり紙ヒコーキ教室』

戸田 拓夫//作 いかだ社 ＜児/754/ト＞

皆さんは、紙ヒコーキを遠くまで、飛ばすことができますか。この本は、15機の紙ヒコーキについて、飛ぶコツやポイントを漫画で分かりやすく紹介しています。紙の種類や大きさ・機体の重力のバランス・投げ方等により、よく飛ぶか決まるそうです。また、うす紙で作るニュータイプの紙ヒコーキも紹介しています。



『ぼくのカキだよ!』

＜E/イ＞

市川 里美//作 BL 出版

柿の実が赤くなるのを楽しみに待っていたケンちゃん。それなのにカラスに先に食べられてしまってがっかりです。するとおばあちゃんが、「畑のすみに一本残っている渋柿をとりにいこう」といいます。昔から伝わる暮らしの知恵やなつかしい日本の風景が描かれている、この季節にぴったりの絵本です。

本館 テーマブック

今月のテーマ

『朝ドラになった人たち』



NHKの朝の連続ドラマ『朝ドラ』。1961年の放送開始以来、約60年。いろいろな職業の人たちがモデルとなりました。そこで今回は、2010年から放送された作品のモデルとなった人たちにに関する本を集めました。

2015年放送『あさが来た』●広岡浅子



『小説土佐堀川』
古川 智映子//著
潮出版社 <913.6./フ>

大阪の豪商を切り盛りし、女子大学の創立にも関わった、広岡浅子の生涯を描いた物語です。

2018年放送『まんぷく』●安藤仁子



『チキンラーメンの女房』
安藤百福発明記念館//編
中央公論新社 <2891./ア>

インスタントラーメンの開発に奮闘した安藤百福を支え続けた、安藤仁子の生涯を紹介しています。

2020年放送『エール』●古関裕而



『君はるか』
古関 正裕//著
集英社 <913.6./コ>

昭和の日本を代表する作曲家古関裕而と妻・金子。ふたりが残した往復書簡を基に、長男が綴った愛の物語です。

2023年放送『ブギウギ』●笠置 シズ子



『歌う自画像』
笠置 シズ子//著
宝島社 <767.8./カ>

戦後の日本をブギウギで明るくした笠置シズ子。彼女の波乱の人生を綴った自伝です。

分館 テーマブック

今月のテーマ

『芸術の秋・おふろ・色とりどり葉っぱの本』

(↑「木育コーナー」にも置いてあるよ☆)



『もみじのてがみ』

<E/キ>

きくち ちき//作 絵 小峰書店

むこうの山から一羽のつぐみが飛んできました。口にくわえているのは、赤い“もみじのてがみ”。ここに暮らす動物たちはそれを受け取り、あの時期が近づいてきたことを予感します。こっちの山にも、もみじあるかな。ねずみは、りすやひよどりと探しに行くけれど、それは違う赤ばかり。でも！その先にあったのは・・・。



リブ
L・I・B

ヤングアダルト

YA向け おすすめの本



『タコのなぞ 「海の賢者」のひみつ88』

池田 譲//作 KODANSHA <児/484/イ>

皆さんタコは好きですか。キャラクターにすると、体は赤くて、おちょぼ口。頭にはねじりハチマキで、少し滑稽に描かれています。でも、実際のタコは違います。この本は、タコを研究している作者がQ&A形式で、謎を解き明かしていく本です。脳は9つある？タコにも幸せを感じることができる？など。この本を読むと、タコをみる目が変わるかも。



『売る仕事』

<児/335/ウ>

西山 昭彦//監修 WILL こども知育研究所//編著 保育社

将来の職業選択の際、学校の先生や医者・看護師など様々な職業が頭に浮かびますが、「会社」に就職する「会社員」も大事な職業のひとつです。そんな「会社員」の「売る」仕事に注目し、具体的な仕事内容や一日の様子、「売る仕事」に就くための情報などを掲載したのがこの本です。「会社員」を紹介した本は珍しいので、ぜひ手に取ってみてください。



『配色BOOK』 白本 由佳//著
SBクリエイティブ <757.3/シ>



『日本の伝統色』
長崎 巖//監修
ナツメ社 <757.3/ニ>



『色の名前と言葉の辞典888』
桜井 輝子//監修
東京書籍 <757.3/イ>

紅葉の季節であり、芸術の季節である秋。少し色と関りが強い季節です。図書館には、色の名前や日本の伝統色、配色についての本などがあります。

色づく葉や身近にあるものがどんな名前なのか。そんなことを探ってみても面白いかもしれませんよ。